



明日香・聖徳通信



令和5年12月22日発行 校長 角田 哲典 第8号

□上手な時間の使い方

12月も終盤にさしかかりました。師走(12月)とは誰もが年の瀬を控えて何かと慌ただしくなる時期で、どっしりと構えて読経をする師僧までも走り回らなければと思わせるほど多忙な月であるとされています。時間に関する四字熟語には「一寸光陰」ほんのわずかな時間も無駄にしてはいけないということの戒めの言葉であったり、「一刻千金」わずかな時間が千金に値するほど、大変貴重であるということを示したりする言葉など、時間は大切にしなければいけないという言葉はたくさんあります。

さて、日頃ご家庭に帰ってからの子どもたちの「時間の使い方」はいかがでしょうか？習い事や友達との遊びなどに、子どもたちは忙しく過ごしていることと思います。忙しい合間をぬって「テレビをつけっぱなしにしながら、本を読んでいる」とか、「お菓子を食べながら、宿題をしている」ということが、もしかしたらあるかも知れません。

忙しいとはいうものの「～しながら」というやり方は決して「上手な時間の使い方」ではないことは言うまでもありません。だらだら、時間を使ってしまえばかりか、何かをして「頑張った」とか、「出来るようになった」という満足感も十分は得られないはず。もちろん、気分転換など、のんびりと過ごす時間も必要です。大切なのは、「めりはり」であったり、「けじめ」であったりではないかと思えます。そのためには、ものごとに見通しをもって取り組むことが重要です。

学校生活も同じです。子どもたちは毎日忙しく過ごしていますが、例えば時間を上手に使っている子どもは、委員会活動や実行委員会の活動などの自分に与えられた仕事に対して隙間時間など集中して取り組むことができ、その成果を上げることができます。そういう子どもたちは、遊びや自由に過ごす時間も十分に取ることができ、けじめをつけることもできるので学習効果も上がっています。

逆にすぐに取りかかることが苦手だったり、目当てがなくてだらだらと取り組んだりしている子は、遊びの時間も十分に取ることができず不満げに「忙しい、忙しい」と言っているような気がします。どちらが上手な時間の使い方でしょう。自分自身を振り返って見てください。

□いよいよ冬休みに突入！

さて、明日から冬休みに入ります。今年はいつもより長い1月8日までの17日間の冬休みですが、冬休みは子どもたちが人として成長していく上で、とても重要な意味があります。家族の一員として家庭での仕事を果たすこと。また、年末年始にあいさつを交わし、周囲への感謝の気持ちを持つこと。公共の場での過ごし方やお正月にちなんだ古くからの

伝統行事を学ぶ時期でもあります。この機会に子どもの関心・興味に応じて正月にまつわるいろいろな話題提供をお願いします。

2学期の教育活動へのご理解とご協力にあらためて厚く御礼申し上げます。また、3学期に明るく元気な笑顔いっぱい子どもたちに会えることを楽しみにしています。

子どもたち、保護者や地域の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。穏やかな年の瀬と良い新年をお迎えください。

修学旅行(小)11月23日(木)～(金)広島・宮島方面

今年は4年ぶりに小学校の修学旅行を広島に戻しました。広島平和記念公園での平和学習を中心に、宮島の厳島神社や水族館の見学を行いました。今までの記憶にないほどの観光客の多さでした。

～6年生児童の修学旅行の振り返りより～

○平和学習では78年前の戦いが二度と起きませんようにと願う心がより強くなりました。資料館ではたくさんの写真が78年前のこと後の世代に伝えてと訴えているように感じました。学校に帰っても忘れないことを誓いました。これからも平和について学んでいきたいです。

○戦争は人の命を一瞬で奪い、関係のない子どもや老人にまで被害を与え、人の生活を不幸にし、さらには森や林の自然や気候など環境にまで被害をもたらす二度とあってはならないものだとして強く感じました。

○平和資料館の見学や講話が聞いて良かったと思いました。その理由は生で話を聞いたり、見たりできたからです。たくさんの写真がありとてもしょうげきを受けました。次は明日香小学校のみんなや世界中の人たちに戦争の恐ろしさをしてもらい、戦争のない世界にしたいです。



□小中合同マラソン大会(小・中)12月7日(木)

先日、晴天のもと小中合同マラソン大会を実施しました。(於：明日香村近隣公園)寒い時期に持久走に取り組むことは、体力を養い、「しんどい」ことでも目標をもって最後までやりぬく強い心を育てます。どの子も精一杯の力を発揮し、最後まで走り抜きました。当日、近隣公園において、温かい拍手や声援を送っていただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。

